

発行  
福井県大野市天師町1番1号  
大野市役所  
電話(代) 6-1111  
郵便番号 912  
印刷 松浦印刷所



4月の人口の動き

出生	男 24	女 30	計 54
死亡	男 16	女 19	計 35
転入	男 166	女 155	計 321
転出	男 184	女 172	計 356
世帯数	9,977		
人口	42,849		
男	20,518	女	22,331

## 新しい農業の方向は 生産性高める創意と工夫

稲作中心の大野市の農家にとって、米の生産調整問題は米価のすえ置きにもつながり、きわめてきびしいものがあります。これを契機に、今後の設計を真剣に考えねばなりません。そこで、新しい農業の方向とはどんなものかを取り上げてみました。

### ＝ 目立つ

#### 兼業化 ＝

44年2月1日現在の統計では、市の農家総数は3,983戸、専業212戸(5.3%)、農業所得が中心の第1種兼業が2,294戸(57.6%)、兼業所得が中心の第2種兼業が1,477戸(37.1%)、と30年に比べて専業は10分の1に減り、兼業がふえています。

農業従事者数をみると、農業だけやっている人、男1,246人、女3,446人。このうち60歳以上が、男790人(63%)、で最も多く、女では45～49歳1,550人(45%)、60歳以上1,061人(31%)。働き手はおもに女子であることと老令化の傾向が目立ちます。

#### ＝ 生産性を高めるには ＝

これからの農業はより少ない労働力でより多くの生産をあげることが必要です。それには従来の働くだけの農業から、自分で工夫し、創造し、能率的な経営方法をつくりあげることが大切です。以下新しい農業とはどんなことか考えてみたいと思います。

#### 1. 経営規模を拡大すること。

農家にとって規模拡大は所得の増大に直接つながる問題です。

稲作農家の目標は、最底4.5%、5%とも言われ、専業農家の育成と兼業農家の



協業化などを通じ、経営規模を大きくすることが農政の柱です。

これだけ耕作するには、大型機械が高効率を上げられるよう、かんがい・排水施設を備えた土地基盤整備をしなければなりません。トラクター～田植え機～防除機～刈取機～脱穀・乾燥・もみすり機と一貫した機械による作業体系もできました。こうなると機械をこなせる青壮年層の労働力が必要になります。

#### 2. 新しい経営部門を

規模を拡大したくても、土地を財産とする昔の考え方と買う資金などから簡単にはできない現状です。この解決策として、米のほかに何か新しい経営部門を取り入れ、土地の生産性を高めることです。これにもやはり、基盤整備、機械化をすすめて稲作労働を減らすことが急務でしょう。では新しい部門は、何に求めるべきでしょう。地域に適した有望なものとして――

#### ① 酪農があります。

六呂師高原で造成中の270%におよぶ



△ 機械による田植え作業  
◁ まごころこめて植える手植え作業

共同利用横断牧場は、いよいよ本年度で完成されますが、ここではしょうぶな子牛を育てて売り渡したり、酪農家からの預託を受けるなど地域畜産に有利な条件といえましょう。

② 奨励野菜のイチゴ、にんじん、里いも、レタス、園芸としてのチューリップ栽培などです。

気象条件から他の産地と出荷時期が重ならず、県・市・農協なども力を入れ、実績をあげつつあります。

ことは、野菜生産出荷近代化事業として、上庄農協が鉄骨造り、165平方メートルの集出荷貯蔵施設を建設、また、トラクターも購入して、地域の特産物として育成を図っています。

今後は、生産―加工―販売まで一貫した組織化を計画しており、主産地形成への努力をします。

#### ＝ こんな事例も ＝

ここで、これらをいち早く取り入れ、実績を上げられている例をご紹介します。

#### ・ イチゴと裏作で反収31万円

富田地区のTさんの場合。(経営農地水田1.5%)

【2面へ続く】※

# 大野市 西谷村 7月1日に合併

## 官報で告示される

大野市と西谷村が7月1日で合併することに、5月9日付けの官報で告示されました。これで両市村の合併手続きは終わり、引き継ぎ事務を残すだけとなりました。

西谷村では、6月21日に大野市民会館

で解村式を行ない、明治22年村制がしかれて以来81年の村史に終止符が打たれます。合併記念式典は、市制記念日の7月1日、市民会館で行なうことになっています。

### ※【1面からの続き】

家族労働3人、うちイチゴを11畝ほかの野菜16畝(作付け) 昨年の10畝当たりの粗収入は、イチゴで20万円。その裏作として、里いもで9万円、レタスなどで2万円、計31万円をあげています。

#### ・酪農所得82万円

上庄地区のMさんの場合(経営農地、水田1.322畝、ふつう畑15畝、家族労働2人)農地のうち飼料圃47畝、裏作田40畝をつくり、乳牛9頭(成牛8頭、育成牛1頭)を飼育しています。

44年の畜産所得は約82万円。年間総所得は約130万円。酪農部門の1日当たり(8時間労働)の所得は、2,362円です。

#### ＝イチゴの秋取りを計画＝

イチゴの二期作を計画、一部試みに実施しています。計画によると、8月上旬に仮植して育てた苗を翌年3月に株のまま冷蔵して、8月下旬に本田へ定植、第1回目の収穫を10～11月に、第2回目は、

そのまま越冬して翌年5～6月に収穫するものです。株の冷蔵期間中は、里いもの早期栽培、収穫後はにんじんを作る体系もできています。特に秋取りのイチゴは端境期に向かい、大きな期待が持たれています。

#### 3. 協同化をすすめる

小規模の個別経営では生産性はあがりません。各農家が機械をそろえては過剰投資になります。協同化して所得を増すことを考えねばならないでしょう。

国がことしから始めた第2次構造改善事業では、自立経営農家(中核農家)を中心とした協業組織づくりをねらっています。組織には次の型があります。

1. 共同作業型 参加農家が手間を出し合って、共同で作業する組織で、機械の共同利用も含まれます。
2. 栽培協定型 品種や種まき・施肥・防除・水管理などを統一、調整します。
3. 集団生産型 栽培協定をして、参加

### ○自治省告示第百号 市村の廃置分合

地方自治法(昭和22年法律第67号)第7条第1項の規定により、福井県大野郡西谷村を廃し、その区域を大野市に編入する旨、福井県知事から届出があった。

右(上)の処分は、昭和45年7月1日からその効力を生ずるものとする。

昭和45年5月9日 自治大臣 秋田大助

(昭和45年5月9日付け「官報」ばっすい)

農家が手間を出し合い共同で作業します

4、受注型 自立経営を旨とする農家が、他の農家の全部か一部を受けてするもの  
この実施には各農家が自分たちの組織であることを自覚し、団結が大切です。

#### ＝まず土地の基盤整備から＝

農業の近代化には、土地基盤整備が前提条件です。市の実施状況は、水田3,900畝のうち、1,322畝(34%)が整備されています。今後、実施が必要なのは2,200畝で、他市に比べて相当遅れており、ぜひとも進めなければなりません。

こんど、上庄地区801畝の県営圃場整備事業が、46年度新規採択希望地区として選定されました。本年度中に地域が決定され、全体計画書の作成を急いでいます

ことしの田植え風景は、機械の活躍が目立ちました。市内には136台の田植え機がはいっています。このように農業の機械化も着々と実現しつつあります。田植えも終わり、わが家はどうかを真剣に考えなければならない時期だと思えます。

### 「公衆はかり」お目見え

6月1日から市内に赤色の「公衆はかり」がお目見えます。置き場所は、店主のご協力を得て、日吉町の安土薬局、元町の松田金物店、本町の土橋呉服店の3カ所に決まり、消費者に自由に使うてもらうことになりました。

これは県・市が協力して行なうもので「買った品物が正しい目方であるかどうかをためし、売り手も買い手も計量に対する認識を深めて正量取引をすすめる」ことをねらいとしています。

なお、利用者の声を聞くための意見箱もついています。

どうぞ気軽にご利用ください。



## 扇踊り

七月来れば雲でさえくだる おれらも行くこうじ・親里へホーイホーイ

昭和44年8月20日、若生子小学校での解告式に、村人たちはやがて湖底に沈む村に尽きぬなごりを惜しんで、「扇踊り」を踊りました。

踊るも舞うも 今夜限り あしたは山のおれ草 ホーイホーイ

昭和39年6月、県の無形文化財に指定された扇踊りは、上・下若生子に伝わる女性だけの踊りで、白い扇を右手に持って踊るので、この名があります。

現在はほんに踊りますが、昔は正月



にも踊ったようです。若生子が大野市となった昭和29年に、祝賀行事に新しい振り付けがされ、服装(ゆかた→紫の着物)、かぶりもの(手ぬぐい→あみがさ)、持ち物(扇→扇とハンカチ)、楽器(宮だいてこ→小だいてこ)などが変わりました。

写真は若生子に古くから伝わる扇踊り

# 農業委員選挙日程決まる

## りっぱな人を選びましょう

市選挙管理委員会は、5月21日、農業委員選挙日程を次のとおり決めました。

○立候補予定者打合せ 6月10日午前9時30分から、市役所第3会議室で

○選挙期日告示 6月15日

○立候補届出締切日 6月16日

○投票日 6月25日

選挙によって選ばれる委員は20人。選挙区ごとの定員は、第1(大野・下庄・

✓乾側)6人、第2(上庄・小山)7人、第3(富田・阪谷・五箇)7人です。

このほか、農業協同組合・農業共済組合が組合ごとに推せんした理事各1人、議会が推せんした5人以内の学識経験者を市長が選任します。任期は3年です。委員は、すべての農業問題を取り上げ解決する仕事を行なうことになっています。あなたの代表を真剣に考え、りっぱな人を選びましょう。

# 学童の安全を第一に 通学路を点検

大野市交通対策協議会は、5月20日危険性の多い有終西小学校前の三差路等15カ所を重点に、約4キロにわたる市外地の主要通学路を点検しました。

会長の市長、大野署交通課長、大野土木事務所、婦人会などの代表13人が、マイクロバスに乗り、これらの箇所には、信号機、カーブ・ミラー、横断歩道、一時停止標識などが必要なのは…、通学路を変えた方がよいのでは—と見て回りました。現場を見たあと検討会を開き関係の機関や団体が、早く安全対策を進めることにしました。

昨年、大野署管内で交通事故にあった子どもは46人、死者2、重傷6、軽傷38人。原因は、「とび出し」がいちばん多く23人で半数を占めています。

### スマイル

#### 「全員遅刻」

会議のテーマは  
時間を守ろうでした

—主催者

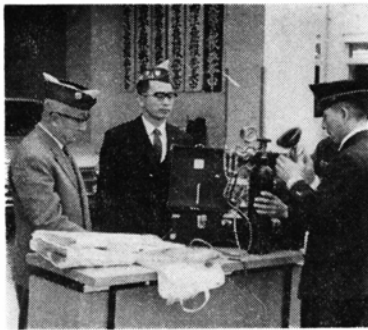
### コーナー

5月中に、次のような方  
方から心あたたまる善意が  
よせられました。

### 救急用に人工蘇生器

大野ライオンズクラブ(会長斎藤政雄氏)は、5月6日、人工呼吸や酸素の補助吸入に使うポータブル人工蘇生器1台と、骨折の添え木の代わりになる空気圧副子(止血帯付き)3組を救急車備品として消防署に寄贈されました。

### 寄贈された人工蘇生器



### 施設の子に図書・雑誌

5月6日、有終中善意銀行(頭取鉦崎昭治君)が、施設の子どもたちにあげて—と生徒から集めた童話・伝記・学習参考書・雑誌等294冊を市の社会福祉協議会へ寄付されました。同協議会ではさっそくひまわり児童会、日の出善隣館、春日児童館に配布しました。

### 1万円を市善意銀行へ

春日1丁目の山本義憲さん(40歳)は、5月7日市善意銀行へ1万円を預託されました。

このほど山本さんのお宅で、昭和15年

# 相次ぐ市民の善意

開催予定だった東京万博の12枚つづり入場券が見つかり、これに相当する額を寄付されたものです。

### 老眼鏡を市民課窓口へ

東京堂時計店主の石田巧さん(43歳・明倫町5区)は、5月9日、「市民課窓口において市民に自由に使ってもらって…」と、台付きの老眼鏡6個を寄付されました。老眼の程度によってまに合うように6種類あり、眼鏡を忘れて困った市民に大好評です。

# 市報短信

### ◇奥越太鼓保存会できる◇

古くから祭りや盆に打たれている大野の太鼓も年とともにすたれ、あまり聞かれなくなったことは寂しい。これをなんとかして保存し、若い人にも伝えようと、5月9日、奥越太鼓保存会が発足、池田武男さん(有明町)が会長になった。

同好者16人と大野工業高校民芸サークルの生徒10人が市役所に集り初練習と発会式をした。

今後、毎週土曜の夜、市役所大会議室で練習する。池田さんは、「伝統ある大



初練習する奥越太鼓保存会会員

野の太鼓をぜひとも残したい。若い人がどどんはいつてほしい。これから練習を重ねて城まつりなどで披露したい」と話していた。

### ◇小山小・中にプール◇

小山小・中学校に水泳プールができる。5月8日に着工し、ことしの水泳シーズには使えるよう工事を急いでいる。

このプールは、横8m、長さ25mの4コースで、工費は450万円。いつもきれいな水が保てる循環浄化装置つき、付属

装置として、シャワー、洗眼場、消毒そう、足洗場がある。児童・生徒たちは、早く泳ぎたいナーと毎日工事の進行を楽しみに見ている。

市が造ったプールは、昭和37年の有終中学校をはじめ上庄・下庄・乾側・尚徳中学校の各7コースプール、阪谷小学校の4コースプールに次いで7番目。

# お知らせ

## ●…山林の火入れには許可を

森林・原野などに火入れをするときは市長の許可が必要です。申請は、市林務課、各森林組合にある所定の用紙を使ってください。

許可されるのは ①造林のための地ごしらえ ②開墾準備 ③害虫駆除 ④焼畑の場合に限ります。

ことしになって山火事が5件発生、延べ7.3㉔が燃えています。タバコの不始末から大きな火災になる例がよくありますのでじゅうぶん気をつけてください。

## ●…ゴミや油を流さないで

ゴミや廃油を用水に捨てる人があって下流の人たちが大変困っています。

昨年を上中野で稲が枯れたり、用水がゴミでせきとめられ、たくさんの方が迷惑しました。

ゴミは必ず週2回の町内ごとの収集日をご利用ください。持ち出し時刻は朝8時まで。祝日は、次回まで待っていたとき、廃油も自分で処分できない場合は、カンに入れて新在家しものゴミ焼却場へ持ってきてください。

## ●…遺児に「入学したく金」

県はことしから交通災害等の遺児に、小・中学校に入学するためのしたく金1人1万円を出すことになりました。交通災害等遺児とは、県内に住んでいていっしょに生活していた父、母、または後見人を、交通・労働災害、地震・水害などの天災、病気などで失った児童をいいます。

ただし、市民税の所得割がかかっている人は除かれます。まだまに合いますから該当する方は早く福祉事務所です手続き

してください。

## ●…商業統計調査にご協力を

通産省が2年ごとにこなす商業統計調査が、6月1日現在で実施されます。

この調査は、全国の卸売業、飲食店を含めた小売業などを営む商店をもれなく調べて、商店数・従業者数・商品販売額などを業種・規模・地域別には握しようとするものです。

6月の月上旬に29人の調査員が手わけしてお店へ伺いますから、ご協力をお願いします。秘密は固く守られ、調査の目的以外には、いっさい使われません。

## 婦 人 の つ ど い

と き 7月5日(日)9:30~15:00

と ころ 市民会館

内 容 学習発表、話し合い、講演

講 師 京都府立大学教授

寿店 章子さん

婦人会が演劇で問題点を投げかけます

## ●…新しく「奥越史料」を発行

市文化財保護委員会編集の「奥越文化」を、「奥越史料」と改め、毎年1回発行することになりました。

第1号から続けてほしい方は、郷土歴史館で固定購読者登録をしてください。臨時に史料集を出すときもご連絡します第1号は、「箱(函)館戦争の大野市にのこる足跡をたずねて」で、6月中旬発行の予定です。ご希望の方は、700円を添え早めに申し込んでください。郵送の場合は別に65円必要です。

## ●…赤痢があなたをねらっている

暑くなるにつれ赤痢が出やすくなり、ちょっとした不注意から集団発生します



## 社会体育

## コーナ

- ※ 飯降山市民登山 4日午後6時~
- ※ 富田地区ソフトボール大会 7日 午前9時~ 尚徳中学校
- ※ 富田地区卓球大会 14日 午前9時~ 富田公民館
- ※ 大野地区体育大会 14日 午前9時~ 有中グラウンド
- ※ 五箇地区体育大会 14日午前9時~ 打波小中グラウンド
- ※ 阪谷地区体育大会 21日午前9時~ 阪谷小グラウンド
- ※ 第6回市民マラソン大会 21日 午前9時~ 市役所⇄稲郷
- ※ 下庄地区おおかさんバレーボール 21日 午前9時~ 下庄小講堂
- ※ 第7回県相撲選手権大会 28日 午前9時~ 市営相撲場
- ※ 下庄地区球技大会 28日 午前9時~ 大野工業高校

次のことを守って予防に努めましょう。  
▷ 外から帰ったとき、食事前、用便後は手を洗う。▷ 菌を運ぶハエ・ネズミ・ゴキブリを退治する。▷ なま水を飲まない。食物は煮たり焼いたりして食べる▷ 疲れを防ぎ、胃腸が弱くならないよう暴飲暴食をしない。▷ 常に健康状態に気をくばる。おかしいときはすぐ医者へ。しろうと療法は一番危険です。

## ●…鳩をさがして

有終中2年、泉町の中出昌利君の鳩が5月20日の夕方から行方不明になりました。足の輪の番号は「043221」。もし見つかりましたら、電話 6-2595へ連絡してください。



「智に働けば角が立つ。情に棹されば流される。…とかく人に世は住みにくい」といつた文豪漱石も、カドミウム・水銀・鉛・スモッグ・廃液・騒音・交通事故等々の公害汚染の今日を予想したであろうか▼人々は余暇を利用して山野に出かけることが多くなった。新緑の候から夏にかけてますます多くなる。公害からのがれて自然に親しむことはたいへん結構なこと

で、大いに歓迎したい。▼ところが最近新聞紙上にもたび重なる山の不道徳が報道されている。今春の低温気象で野菜不足になり、近年にない山菜ブームを巻き起こした。その余波とでもいおうか、山の人たちの生活がかかっているワサビオウレン、ナメコまで荒された。もちろん一部の人たちによってだろうが。町花に指定して保存をはかろうとしている今庄地方のシャクナゲ荒しや、加越国境のミスバショウの踏み荒し、さらにはこやたき火の不始末による山火事等は慨嘆にたえない。カン詰めのみきカンやビニールの袋は腐らない。掘って埋めるか、持ち帰るだけの心の余裕がほしい。

▼(つ)釣りの好きな友人はいつかこんなことをいった。「五ノ六匹もつれたら帰る。小さいのは放してやる。」魚や山菜でも腐るほど持ち帰る必要はない。つり場荒しや山場荒しほど他人迷惑はない。魚や花木にしてもやはり「野におけすみれ草」だ。彼らの種族保存の生活圏まで根こそぎに奪いかねない病的な現代的欲望はむしろ恐い。▼山や海のエチケットは他から強制されてはむしろ不愉快だ。大自然という無言の世界から、小さきものの生きた世界から、優しく語りかけられる性質のものだから。

「智に働けば角が立つ。情に棹されば流される。…とかく人に世は住みにくい」といつた文豪漱石も、カドミウム・水銀・鉛・スモッグ・廃液・騒音・交通事故等々の公害汚染の今日を予想したであろうか▼人々は余暇を利用して山野に出かけることが多くなった。新緑の候から夏にかけてますます多くなる。公害からのがれて自然に親しむことはたいへん結構なこと